

3月定例会の日程

2月	25日	本会議[会期の決定、予算大綱説明、議案説明など] 予算審査特別委員会
3月	3日	本会議[一般質問]
	4日	本会議[一般質問]
	7日	総務委員会
	8日	経済委員会
	9日	文教委員会
	10日	予算審査特別委員会
	11日	予算審査特別委員会
	14日	予算審査特別委員会
	15日	予算審査特別委員会
	17日	本会議[委員長報告、質疑、討論、採決など]

供するため、三河大塚駅前広場整備事業に600万円が計上されました。織維・観光の活性化を通じ、産業全体への波及効果を狙う目的で、海陽多目的広場で開催される「くらふとフェア蒲郡」開催事業に300万円が計上されました。

海岸環境を整え、地域の活性化とコミュニティ組織の育成・発展を図るとともに市民の憩いの場を創設するため、西浦海岸(大戸地内)植樹事業に250万円が計上されました。

そのほか、「音楽のまちネットワークづくり」事業に200万円をはじめ、青色回転灯装備による防犯パトロール実施事業、家庭児童相談室の強化、粗大ごみ

等の運搬車両貸出事業などが予算化されました。予算審査特別委員会での主な質疑は、次のとおりです。

**■歳出**  
**●総務費**

**青色回転灯パトロール**  
問 パトロールは誰がするのか。また、青色回転灯はいくらか。  
答 安全安心課の職員が、青色回転灯を設置した車両で、交通安全と防犯をかねて、週2回ほど市内を防犯パトロールする予定である。回転灯の予算として7万円を計上している。

公用車の集中管理

問 15年3月に公用車の集

中管理を提案したが、その後どうなったか。

答 部単位の管理を進めてきて、16年度に全体で10台を削減した。現在、市庁舎内の駐車場に65台あるが、更なる削減を図るため、財務課が所管となって18年度をめどに集中管理を実施するよう近隣市町の状況を参考に検討している。

●民生費

低年齢児保育

問 低年齢児保育の受け入れ人数はどのようか。

答 17年度の予算では、ゼロ歳児は24人、1歳児は70人、2歳児は132人だが、4月1日からゼロ歳児が15人、1歳児が65人、2歳児が120人で開設していく予定である。予算と4月1日の人数の差は、年度途中の増加に対応するためである。

●衛生費

ユトリーナの誘客PR

問 ユトリーナ蒲郡の利用促進策及び今後のPRの計画はどうか。

答 しょうぶ湯や七夕、敬

老の日など季節のイベントを実施し、また、三河湾健康マラソン、50キロハイクなどの市主催の行事においてPRを努めていきたい。

好評の健康教室は、専門コースを新設するなど回数をややし利用者のニーズに応えていきたい。

●農林水産業費

漁協合併の推進状況は

問 市内3漁協の合併の状況はどうか。

答 3漁協で合併推進協議会をつくって話し合っているが、なかなか進展していない。信用事業の統廃合が最大の懸案事項であるが、4月末までの役員会に合併するかどうかの決定を委ねている。多少の遅れはあると思うが、平成18年2月をタイムリミットとしたい。

●商工費

くらふとフェア開催

問 くらふとフェアの開催時期、規模、また経済効果をどのように考えているか。

答 11月5日(土)、6日(日)に海陽多目的広場で開催を予定し、2、3万人

の来場者と6000万円程度の経済波及効果を期待している。

蒲郡の地域ブランドと新しい魅力を創造するため、今後も継続していくことが大切だと考えている。

●土木費

ラグーナ街道

問 ラグーナ蒲郡へ行く道に「ラグーナ街道」というような愛称をつけて宣伝・案内をしてはどうか。

答 ラグーナについては、現在、公的サインの一部を見直ししているところである。愛称道路は、市内に13路線あるが、ラグーナについても一度検討してみたい。

●消防費

消防自動車の更新

問 消防自動車の更新は、NOx・PM法によるものか。その場合、適合車体に装備だけを載せかえることはできないか。

答 消防の全車両が法の対象で、計画的に行うものである。装備の使用頻度が大変激しいため、載せかえて使用することはできない。